

## 平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
公民	現代社会	普通科 3年 理系必修	2
教科書 副教材等	[主たる教材] 高校現代社会 (実教出版) [副教材] フォーラム現代社会 (とうほう) ニューコンパスノート現代社会 (とうほう)		

## 1 科目の目標

人間の尊重と探究の精神に基づき、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めるとともに、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断できる。人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

## 2 科目の内容

## (1) 私たちの生きる社会

社会の在り方を考察する基盤として、「幸福」「正義」「公正」を理解し、いかに生きるかを主体的に考察する。

## (2) 現代社会と人間としての在り方生き方

現代社会について、倫理・社会・文化・政治・法・経済・国際社会など多様な角度から理解する。

## (3) 共に生きる社会を目指して

持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通じて、現代に生きる人間としての在り方について考察を深める。

## 3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月 ↓ 5月	第4編第1章 現代の国家と民主政治 1. 人権保障の発展と現代社会 2. 国民主権と民主政治の発展 第2章 日本国憲法と国民生活 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義と日本の安全 ○1学期中間考査	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代民主国家が、国民主権と基本的人権の保障を唱える背景について、民主主義思想の流れとの関係から理解できるように留意する。</li> </ul>
5月 ↓ 7月	3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり 5. 人権保障と裁判所 6. 政治機構と国民生活 7. 地方自治と住民福祉 ○1学期期末考査	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>大日本帝国憲法と日本国憲法を比較法的に理解させる。</li> </ul>
7月 ↓ 10月	8. 選挙と政党 9. 21世紀の政治参加 第3編第1章 現代の経済社会と政府の役割 1. 技術革新と社会の変化 2. 現代の市場と企業のはたらき 3. 国民所得と景気変動		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的人権の内</li> </ul>

		○2学期中間考査	13	容を把握するとともに、人権尊重の心を育てる。
10月 ↓ 12月	4. 金融機関のはたらき 5. 政府の役割と租税 第2章 経済活動のあり方と国民福祉 1. 日本経済の歩みと産業構造の変化 2. 中小企業と農業 3. 公害防止と環境保全 4. 消費者問題			・新聞の政治、経済、国際欄を自力で理解することを一つの目標に、政治機構や経済のしくみについての基礎を身につけさせる。そして、良識ある公民として、自尊互尊の心をもって社会に向き合える資質を育てる。
12月 ↓ 3月	5. 労働問題と雇用 6. 社会保障の充実 第5編 国際社会の動向と日本の役割 第1章 国際社会の動向 第2章 国際経済の問題と日本の役割 第1編 現代に生きる私たちの課題 【探究活動】地球環境問題・資源エネルギー問題・生命科学の発達と生命倫理・高度情報社会の問題点についての調べ学習・発表を行う。 第2編 現代の社会生活と青年	○2学期期末考査	15	
		○学年末考査	15	

計 70 時間 (55 分授業)

## 4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点・規準	現代社会の基本的な問題について、主体的に情報・知識を得ようとしている。	一面的な見方ではなく、多面的に現代社会の諸事象について考えることができるか。また、調べたことを適切な言葉で表現することができる。	資料集や配布物から、求められるデータを検索できる。	現代社会のしくみの基本を、正しく理解している。
評価方法	授業への取り組みや、提出物の状況。	ディベートやグループワーク、プリント記入欄にみられる考え方。	課題への回答や、グループワーク等での発表状況。	定期考査・提出物

## 5 担当教員

公民科教諭

## 6 担当者からのメッセージ

現代の社会を、政治・経済・国際社会・倫理・文化といった多様な角度から理解することで、自分との関わりを意識しながらこれからの生き方も考える、そんな時間にして欲しいと願っています。